

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	6	国道沿いで交通量が多いが、外門は開けています玄関も自由に出入り出来るようにしています。夜間は安全上3点柵をする利用者もいます。身体拘束について勉強会もしていますが言葉による拘束についてはまだまだ不十分です。	夜間安全上3点柵にしているので(1名のみ)2点柵で対応できるように努めたいです。毎日のケアでどうしても言う「ちょっと待ってください」の言葉による拘束を少しでも意識しながら少なくしたいです。	3点柵に対しては夜間休んでいただく時に身体を少し壁の方に寄せて休んでいただく。体位変換も行うので意識して行います。クッション等も使用。言葉による拘束に対しては「すぐに来ます。すぐですから」等声かけして常に意識して支援していきます	12ヶ月
2	33	重度化した場合には、その段階で管理者がご家族に報告し今後の希望を確認しています。要望があればそれに沿った支援を行っています。入居時に急変時の同意書はもらっていますが、終末期や重度化については同意書がないので検討します。	入居時にホームでできることを管理者が口頭で説明しています。入居して身体面が徐々に低下してきて今後の要望を確認しながら情報の共有と意思確認の同意書にて支援を行っています。	定例会で「同意書」について検討作成を行います。入居時重度化については説明していますが徐々に身体面が低下してきてその dankai で終末期夜重度化について指針と同意書の説明行い情報の共有を図るようにしていきたいと思っています。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。